

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：2019年12月10日

伊丹市立荒牧中学校 (学級数 19 学級※特別支援学級 2 含む、生徒数 600 人)
(児童生徒数は 5 月 1 日現在)

1 本年度の取り組み状況 (11 月末現在)

- (1) 「確かな学力」の育成について
 - ① 教師の授業力アップによる生徒の学力向上
 - ア 全教師による公開授業と校内授業研究会の実施 (6 月、12 月、2 月)
 - イ 「協同学習」を取り入れた授業に関する研修会の実施 (毎月 1 回)
 - ウ 授業パターンの確立
 - ② 次時までの宿題、週末課題、「My 学ノート」による自主学習の実施
 - ③ 「学習会」の実施による学習意欲の向上
 - 長期休業中、終礼学習、放課後学習、合格学習会、土曜スクール等
 - ④ 朝読書、読み聞かせ、図書館まつりの開催などの読書活動の充実
 - ⑤ コミュニケーション・トレーニング (火曜朝読書、木曜終礼学習時) の実施
- (2) 豊かな心・健康な体の育成
 - ① 学校行事の活性化による学級、学年、学校づくり
 - ② 部活動の活性化、充実による学校づくり
 - ③ 毎学期の生活点検 (いじめ) アンケートによる学校生活見直し、改善活動の実施
 - ④ 小中連携による道徳教育等の充実
 - ⑤ 年 2 回の hyper・QU による学級組織と人間関係づくり
- (3) 開かれた・信頼される学校づくり
 - ① 学校日より、学年日より、ホームページの充実等による積極的な情報発信
 - ② 生徒会、荒中ソーラン隊、吹奏楽部、コーラス部などの地域行事への参加、地域住民との交流などの積極的な地域との連携
 - ③ 年 2 回の学校評価 (自己評価、学校関係者評価) の実施と公表

2 めざす学校像

- (1) 自信と誇りが持てる学校
- (2) 温かい人間関係で結ばれた学校
- (3) 保護者、地域と共に成長する学校

3 めざす生徒像

- (1) 自らきちんと挨拶のできる生徒
- (2) 意欲を持って学ぶ探求心のある生徒
- (3) 部活動、学校行事に燃える生徒
- (4) 自他を大切にする思いやりのある生徒
- (5) 美しいものに感動し、一生懸命な姿に共感する生徒

4 めざす教師像

- (1) 自らの資質向上に努め、授業で勝負する教師
- (2) 生徒とともに汗を流す情熱を持った教師

- (3) チームとしてまとまって協働する教師
- (4) 生徒の範となる向上心と、信念を持った教師
- (5) 地域の一員、常識ある社会人である教師

5 我が校の特色

- (1) 授業で勝負する生徒と教師
- (2) 行事・部活動に燃える生徒と教師
- (3) コミュニティ・スクールとして、保護者や地域とともにある学校
- (4) 地域行事への参加（施設訪問、小学校区地区行事等）

6 我が校の研究概要

- (1) 研究主題 自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成
～言語活動の先にある協同的探求を目指して～
- (2) 研究目的 教師の授業力アップによる生徒の学力向上
- (3) 研究発表 令和2年11月6日に、「学級経営を基盤とする協同学習の充実」をテーマに研究発表を行う予定である。

7 学力向上に向けた取り組み

- (1) 授業時間の充実
 - ①学習規律の徹底、授業パターンの確立、協同学習による言語活動の充実を図る。
 - ②全教師による公開授業や授業研究会を実施し、授業力向上を図る。
 - ③ICT機器の効果的活用を進める。
- (2) 読書活動の充実
 - ①読書習慣の定着をめざし、年間10,000冊の貸し出しを目指す。
 - ②学習活動（調べ学習等）のための図書の実用を図る。
 - ③生徒への図書購入希望調査を実施し、図書室の活性化を図る。
 - ④読書指導ボランティアの方々の協力を得て、読み聞かせの時間の充実を図る。
 - ⑤図書館まつりや移動図書館を充実させ、生徒の本への興味関心を高める。
- (3) 学習習慣の定着
 - ①日々の宿題、週末課題、「My学ノート」の内容を明確にし、家庭や小学校との連携による学習習慣の定着に努める。
 - ②「学習の手引き」「家庭学習充実のために」を効果的に活用する。
 - ③テスト前学習会、終礼学習、宿題パーフェクト学習会を実施する。
 - ④長期休業中の学習相談を実施する。
 - ⑤土曜スクールを実施する。（年10回以上）
- (4) 学習意欲の向上
 - ①各種検定の取り組みを進める。（英検、漢検、数研、歴検、地検）
 - ②探求のための「My学ノート」になるように、優秀なものを展示などで紹介する。
 - ③「わかる授業」を心がけ、協同学習による「学び合い学習」に取り組む。
 - ④CRTや単元テストを通して自分の学力を自覚させ、個々に応じた指導を行う。
 - ⑤少人数指導により、個に応じた丁寧な指導を行う。

8 教職員の勤務時間の適正化に向けた取り組み

- (1) ノー部活デー、ノー会議デー、定時退勤日を適切に実施する。
- (2) 校務効率化のためのIT環境の整備、会議のペーパーレス化を進める。
- (3) 学校行事の精選を図り、ゆとりある教育課程を進める。
- (4) 荒中ナビの活用により、業務の円滑化を図る。

9 今後に向けて

学校教育目標「自主、自立、感謝の精神を抱き、未来を拓く生徒の育成」の具現化を目指し、生徒も教師も自信と誇りの持てる学校創りにさらに取り組む。

- (1) 次年度に向けて教育活動の充実を図る。
 - ①「学校評価」等を活用し、現状を分析・検証し、活動の充実を図る。
 - ②コミュニケーション・トレーニングの充実を図る。
 - ③温かい人間関係を基盤とした学級経営を行う。
- (2) 信頼関係を築く。
 - ①人間関係を育てる。
 - ア. 一人ひとりの生徒に対して細やかにかかわり、寄り添いながら自己決定させ、褒めて勇気づけることによって自尊感情を高めるとともに、いじめや不登校等の未然防止に努める。
(個人ノート、教育相談週間の充実、hyper-QU等アンケートの実施・活用)
 - イ. 保護者と常日頃からの連絡を密にし、信頼関係を構築する。
(家庭訪問、懇談会、PTA行事の実施)
 - ウ. 教師、生徒が共に汗を流し、充実感・達成感が味わえる行事、部活動を実施する。
 - ② 開かれた学校をつくる。
 - ア. 学校評価の充実を図る。保護者、地域の学校に対するニーズを的確に把握し、全教員が「成果・課題」を共有し、課題の克服に向けて組織的に取り組む。
 - イ. 学校日より、学年日より、進路日より、学校ホームページを充実する。
 - ウ. キャリア教育講演会などをオープン・スクール週間に組み、授業参観等の参加者を増やすための工夫をする。
 - エ. コミュニティ・スクールを活用し、地域との積極的な相互交流を行う。
 - オ. 研修を行い、危機管理意識の徹底を図る。
- (3) 家庭、地域との連携のもと基本的な生活習慣の定着を図る。
 - ① あいさつ運動、始業・終業のあいさつ、部活動等を通して、『あかるく、いつも、さきに、気持ちをつたえる』あいさつの大切さを体感させる。
 - ② 携帯電話・スマートフォンの使い方について危険性やマナーの徹底、ルールづくりを進める。
 - ③ 小中連携をさらに進め、9年間を通した芯のある取り組みを行う。特に、家庭学習や不登校をうまない取り組みの充実を努める。

伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.ara.itami.ed.jp/>